

Ⅱ 教育目標及び教育方針

1 石川の教育振興基本計画

(1) 基本理念 未来を拓く心豊かな人づくり

(2) めざす人間像

- ① ふるさとに誇りを持ち、広い視野に立って社会に貢献する人間
- ② 生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間
- ③ 責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間
- ④ 健康や体力の増進に努める、活力ある人間

(3) 学校教育指導の重点

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- ② 主体的・協働的に問題発見・解決する学習過程を通じた活用力等の育成
- ③ 学力と指導力を持続的・継続的に高める指導体制の確立
- ④ 道徳教育の充実
- ⑤ 体育・健康に関する指導の充実
- ⑥ 外国語教育や科学教育の充実

(4) 教科等指導の本年度の重点

- ① 物事を多様な観点で考察する学習や、自ら課題を発見し、主体的・能動的に課題解決に取り組む学習、問題解決のための効果的なICTの活用等を意図的・計画的に授業に取り入れ、活用力等の一層の向上を図る。
- ② 学力調査等を生かした学力向上PDCAサイクルを確立し、これら一連のプロセスを短期的、中長期的な行程【学力向上ロードマップ】に位置付け、具体的な取組や教育課程の工夫・改善を図る。
- ③ 「ふるさとがはぐくむ道徳いしかわ」（映像資料を含む）や「私たちの道徳（国）」などを効果的に活用し、多様な指導方法を通して、物事を多面的・多角的に考えさせ、郷土を愛する心や思いやり、生命尊重、規範意識などの道徳性の育成を図る。

2 内灘町教育振興基本計画

(1) 基本理念 夢や目標に向かってたくましく生きる心豊かな人づくり

(2) めざす人間像 ① 「ふるさと内灘」に誇りを持ち、広い視野にたって社会に貢献できる人

② 確かな学力を身につけ、生涯にわたって学び続ける人

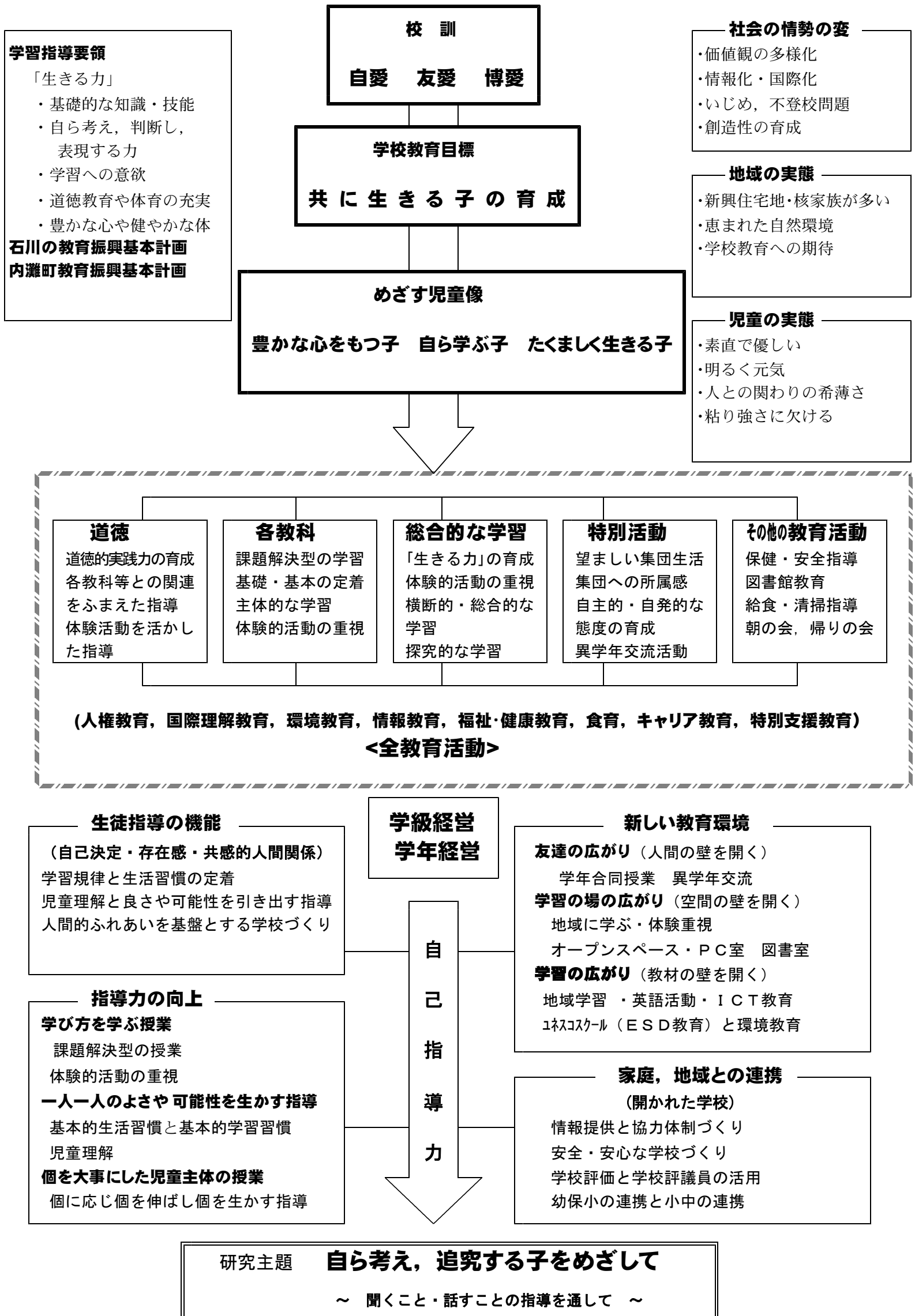
③ 社会性や規範意識を身に付けた、思いやりのある心豊かな人

④ 健康や体力の増進に努める、活力ある人

(3) 学校教育重点目標

- ① うちなだの良さを活かしたふるさとと教育・ふるさと学習の推進
- ② 確かな学力の育成と基本的生活習慣の確立
- ③ 豊かな心の育成と、いじめ・不登校の未然防止
- ④ 国際理解活動と実践的な外国語教育の充実
- ⑤ 個性に応じた特別支援教育の充実
- ⑥ 安全・安心な学習環境の整備

3 学校教育目標と学校経営の構想



4 学校教育目標とめざす姿

(1) 学校教育目標

〈校 訓〉 自愛 友愛 博愛

〈学校教育目標〉 共に生きる子の育成

(2) めざす姿

〈めざす学校像〉

確かな学力を身につけ、心豊かで健康な児童が、安心して楽しく学び合える学校

〈めざす児童像〉

○自ら学ぶ子（知）

- ・めあてや課題をもち、自らその達成や解決に努力する子
- ・他の人の思いを聞き、互いに深め合う子
- ・学びをもとに判断し、表現していこうとする子

○豊かな心をもつ子（徳）

- ・相手やみんなのことを考えて行動できる子
- ・だれにでも明るくあいさつができる子
- ・美しいものに感動し、自然や人間に対して豊かな愛情をもつ子

○たくましく生きる子（体）

- ・心身共に健やかな子
- ・自ら考え、決断し、実行する子
- ・困難にあっても粘り強く努力する子

〈めざす教師像〉

- ・児童を愛し、児童の成長を喜びとする教師集団をめざし、自己研鑽に努める。
- ・互いに協働しつつ切磋琢磨し、元気で活気ある楽しい学校づくりに努める。
- ・家庭・地域から信頼される教師をめざす。

5 中・長期的目標

- ・基礎・基本の定着を図り、学ぶ意欲・考える力・表現する力の育成を目指す。
- ・道徳教育、読書活動や体験活動等を通して、心豊かで他を思いやり、正しく判断し、行動できる児童の育成を目指す。
- ・心身の健康に留意し、最後まで粘り強く取り組むたくましい力の育成を目指す。
- ・授業研究と研修により、教師の指導力の向上を図る。
- ・学校経営PDCAサイクルを確立し、学校改善に生かす。
- ・家庭や地域との協力関係を築き、安全・安心で信頼される学校づくりを目指す。

6 今年度の重点目標

(1) 学力の向上（学習指導）・・・「学びの組織的実践推進事業」連携校

「英語教育強化拠点地域事業」拠点校・「学力向上プログラムサポート事業」指定校

- ① 授業力の向上
 - ・生徒指導の三機能を活かし主体的・協働的に取り組む授業づくり。
 - ・課題解決型の教科指導を核にして、活用力の育成を図る。
 - ・授業研究，相互の授業参観や研修により教員の授業力を高める。
 - ・個別タブレットPCや電子黒板の効果的な活用を図る。
- ② 学習の基盤づくり
 - ・学習規律の確立，基礎基本の定着，家庭学習の習慣化に努める。
 - ・学力向上につながる取組を協働体制の中で，組織的に進める。

(2) 豊かな心の育成（道徳教育・特別活動）

- ① 道徳教育の推進
 - ・道徳の授業を中心に，豊かな心や感性を育む。
 - ・体験活動や交流活動の充実と温かな学級経営に努める。
 - ・自己決定の場，存在感，共感的な人間関係の基盤づくりに努める。
- ② キャリア教育の推進
 - ・将来の夢や希望をもてる機会を設定していく。
- ③ 特別活動の充実
 - ・児童の自主的な活動を促し，企画力・実行力を育てる。
- ④ エコ活動の推進
 - ・E S D教育を推し進める。(エコスクール・ユネスコスクール・学校版環境ISO認定校)
- ⑤ 読書活動の推進
 - ・学校図書館を有効活用し，読書冊数の増加を図る。

(3) 生徒指導の充実（生徒指導・特別支援教育）

- ① 基本的生活習慣の定着
 - ・自分から進んで挨拶ができるようにする。
- ② 特別支援教育の充実
 - ・配慮を要する児童の共通理解と共通支援を図る。
 - ・確実な引継ぎにより，継続的な指導を進める。
- ③ 教育相談体制の充実
 - ・いじめや不登校等の問題に対して，組織的に取り組む。
 - ・アンケートや個別の教育相談により，児童理解に努める。
 - ・児童相互に良さを認め合う機会を設けていく。

(4) 安心で健やかな教育の充実（保健安全）

- ① 安全指導の充実
 - ・危機管理意識をもって，日常の安全指導を行う。
 - ・交通安全，不審者対策等の取組を確実に行う。
- ② 健康教育の充実
 - ・健康診断，健康観察，健康相談等により健康管理をする。
 - ・健康課題の解決に向けて，計画的に健康教育を進める。
 - ・体力テストの結果を分析し，体育や日常の活動で体力アップを図る。
 - ・運動場での外遊びやスポチャレを通して，体を動かす習慣を作る。

(5) 開かれた学校づくり（教務）

- ① 学校情報の開示
 - ・各種たより，HPを通して，積極的に情報開示をする。
 - ・保護者や地域と連携し，安全・安心な学校づくりに努める。
- ② 地域の学校間連携
 - ・幼保小連携と小中連携を強め，指導の連続性を高める。
- ③ 学校評価の活用
 - ・学校評議員を活用するとともに，学校評価結果を改善に生かす。